

(学年) 第 1 学年, (教科・科目) 数学・数学 I

一斉学習

(単元) 数と式

(本時のねらい)

中学校においては、論理的な思考についての基礎的な学習をしているが、その振り返りをするとともに式を多面的にみたり処理したりすることや、式を目的に応じて変形したり、見通しを持って扱ったりすることが身に付くように指導する。

(ICT活用方法)

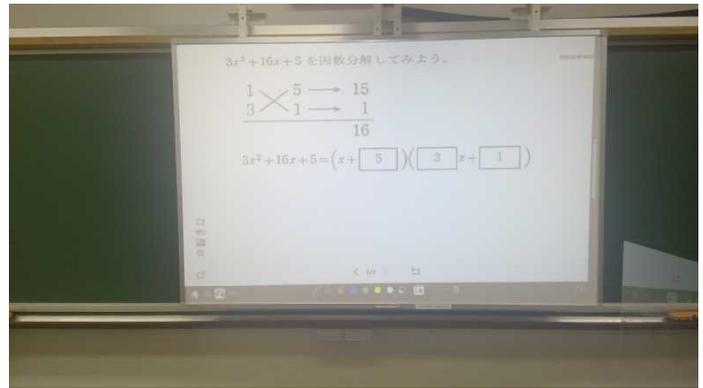
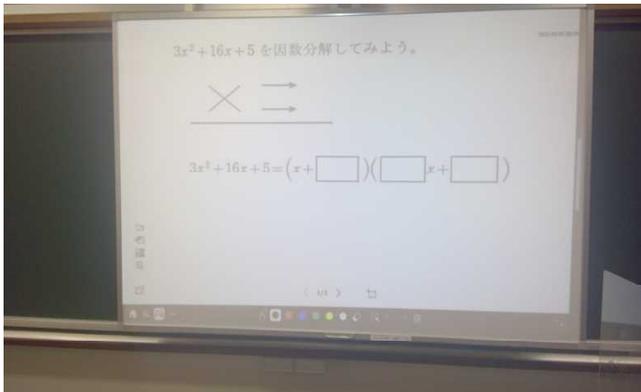
電子黒板と既存の黒板を併用しながら、予め用意したスライドや、手書きによる解説を保存した内容を繰り返し投影し、生徒の知識・理解に繋がる効果的な活用を行う。

(本時の展開)

時間	学 習 活 動	指 導 事 項	I C T 活 用 方 法	備 考
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 前時の因数分解を復習する。 本時の目標を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の因数分解を示す。 前時の因数分解との違いを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 因数分解の公式を写し出す。 	因数分解の公式を見せることで公式を確認する。
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> 例 20 の解き方を理解する。 問 21 を解く。 答え合わせをする。 問 22 を解く。 答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> $ac = 2$, $bd = -5$ となる組み合わせを考えさせる。 たすき掛けの組み合わせ方がいくつかあることを理解させる。 a, b, c, d の値を見つけ出し、因数分解ができることを理解させる。 たすき掛けの図に数字のみを記入してから問題を解かせる。 解説をする。 たすき掛けの図を自分で書かせて、問題を解かせる。 解説をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードモードを活用する。 問題を電子黒板に写し出し解答する。 問題を電子黒板に写し出し解答する。 	<p>たすき掛けの方法の定着を図る。</p> <p>導く手順を考えながら答え合わせをする。 自分の解答と比べながら答え合わせをする。</p>

まとめ 5分	・ 本時のまとめをする	・ ワークシートにたすき掛けの方法を写させ、理解を深めさせる。	・ はじめのたすき掛けをを写し出し、知識の確認をする。	
-----------	-------------	---------------------------------	-----------------------------	--

(授業の様子)



(生徒の反応と課題、改善を要する点)

教科書やワークシートをPDFで取り込み、ホワイトボードモードで説明することにより、効果的な板書ができる。また、必要に応じて前の問題や例題に戻ることができるので参考にしやすい。授業内容の振り返りなどには効果的であるが、PDFを電子黒板にキャプチャする時間を計算して授業を進める必要がある。